

# 中津市民病院化学療法レジメン

【レジメンNo】S-C22

申請日	2010/4/13	承認日	委員長	印
レジメン登録	2023/10/1	仮承認日	承認者	印

CapeOX(Adjuvant)	病名	大腸癌	外科	提出医
<b>対象</b>	R0切除が行われたStageⅢ大腸癌もしくは再発リスクの高いStageⅡの大腸癌(I.C必須)			

薬剤商品名 (一般名)	投与量 (mg/m <sup>2</sup> 等)	投与方法 (div.iv.po等)	投与スケジュール(日)															
			1	5	10	15	20	25	28	30								
オキサリプラチン	130mg/m <sup>2</sup>	div	○															
カペシタビン	※	po(朝)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
カペシタビン	※	po(夕)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

投与間隔・休薬期間等: 21日=1コース  
 Lowリスク(T1-3,N1)では3ヶ月  
 Highリスク(T4 and/or N2)では6ヶ月

← 1コース →

【投与処方例(前投薬など)】

- \* 手足症候群予防として、保湿剤を処方すること。
- \* オキサリプラチン投与中は温罨法を行う。

- ① メインキープ【緑】生理食塩液250mL / div
- ② メイン【赤-1】5%ブドウ糖液100mL+アロカリス1V+パロノセトロン1V+デキサート4.95mg/div 30分
- ③ メイン【赤-2】5%ブドウ糖液500mL+オキサリプラチン+デキサート4mg/div 2時間

\*腎機能低下時の減量方法については、クレアチンクリアランスに応じて、カペシタビンの投与量を変更すること

Ccr30~50mL/min 75%Dose

Ccr30以下は禁忌

※カペシタビンの内服量 2000mg/m<sup>2</sup>/Day

血液毒性・非血液毒性発現時の休薬・減量・再開基準を参考にする。

体表面積	1回用量※	1段階減量	2段階減量
~<1.36m <sup>2</sup>	1,200mg(4錠)	900mg(3錠)	600mg(2錠)
1.36m <sup>2</sup> ≦~<1.41m <sup>2</sup>	1,500mg(5錠)		
1.41m <sup>2</sup> ≦~<1.51m <sup>2</sup>			
1.51m <sup>2</sup> ≦~<1.66m <sup>2</sup>		1,200mg(4錠)	
1.66m <sup>2</sup> ≦~<1.81m <sup>2</sup>	1,800mg(6錠)	900mg(3錠)	
1.81m <sup>2</sup> ≦~<1.96m <sup>2</sup>	2,100mg(7錠)		
1.96m <sup>2</sup> ≦~<2.11m <sup>2</sup>		1,500mg(5錠)	
2.11m <sup>2</sup> ≦~		1200mg(4錠)	

参考資料: Grothey A, et al: N Engl J Med 378:1177-1188. 2018.

JCO 2011; 29: 1465